

品 番	品 名	周 波 数
LYQ37	P J - 4 型	5 0 H z
LYQ38	P J - 4 型	6 0 H z

お客様へ


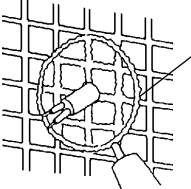
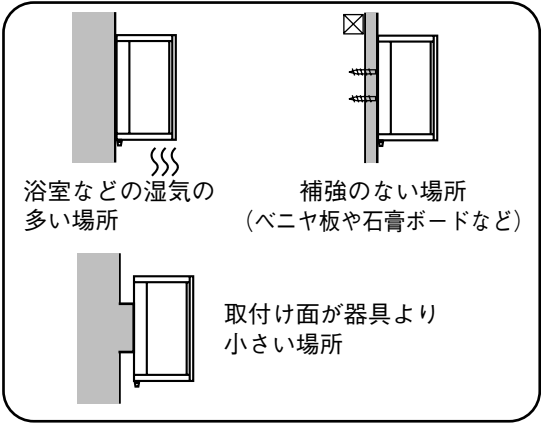

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。
 必ず、工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
 取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

安全に関するご注意

警告

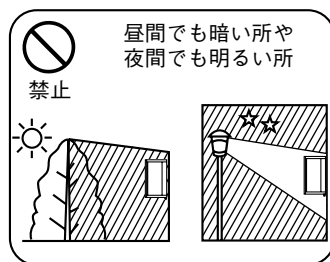
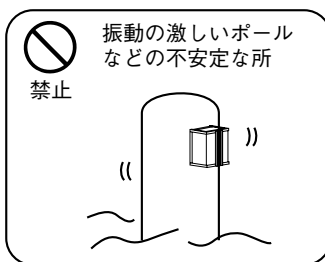
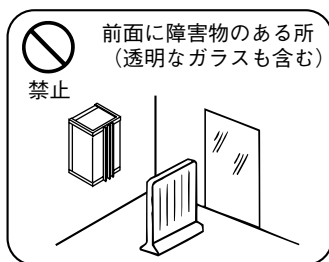
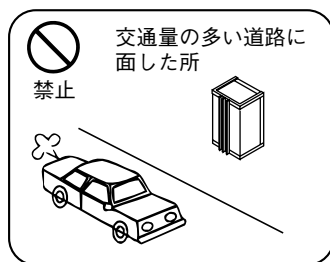
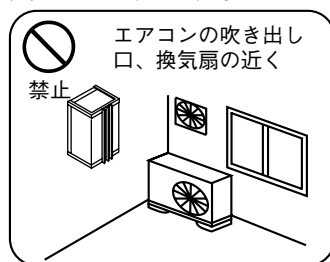
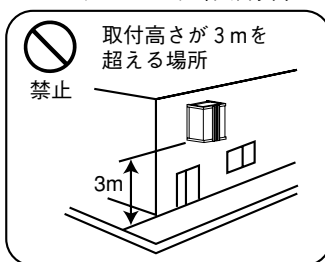
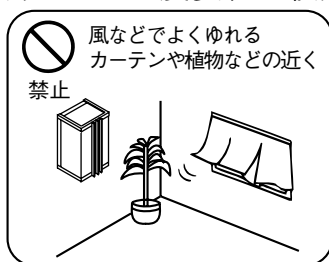
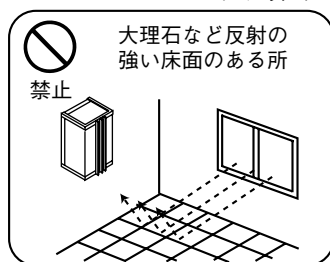
<p> 必ず守る</p>	<p>■器具の取付けは、施工説明書にしたがい確実に行ってください。 取付けに不備があると、 火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</p> <p>■タイル面など取付け面に凹凸がある場合は隙間を埋めてください。</p> <p> <u>パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。</u></p> <p>本体パッキンと取付面との隙間を防水シールなどで埋めてください。</p> <p>●防水が不完全な場合、 火災、感電のおそれがあります。</p>	<p>■こんな場所には取付けないでください。 この器具は防雨型・壁面取付専用です。 下図のような取付けは、 火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</p> <p></p> <p>浴室などの湿気が多い場所 補強のない場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど)</p> <p>取付け面が器具より小さい場所</p> <p>禁止</p>
<p> アース線接続</p>	<p>■接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行ってください。 接地が不完全な場合、 感電のおそれがあります。</p>	<p>■交流100ボルト以外で使用しないでください。 過電圧を加えると過熱し、 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>■器具表示の指定方向以外では取付けないでください。 指定外の取付けは、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</p>

注意

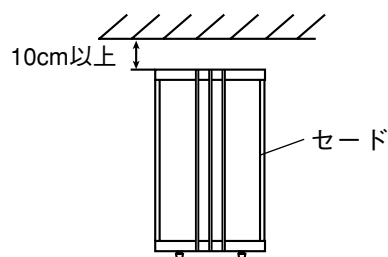
<p>禁止</p>	<p>■温度の高くなるものの上に取付けないでください。 ガス機器やその排気筒の上に取付けないでください。火災の原因となります。</p> <p>■使用地域の周波数以外のものを使用しないでください。 間違っていると、火災の原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>■調光器との併用はしないでください。 ライトコントロール・明暗スイッチなどとの併用はしないでください。 火災の原因となります。</p> <p>●調光器の取りはずしが必要です。 調光器の取りはずしには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。</p>
-----------	---	--

取付場所について

- センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、「設定のしかた」(P4)の項目をよくご覧のうえ、設定してください。
- 次のような場所には取付けないでください。
このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。

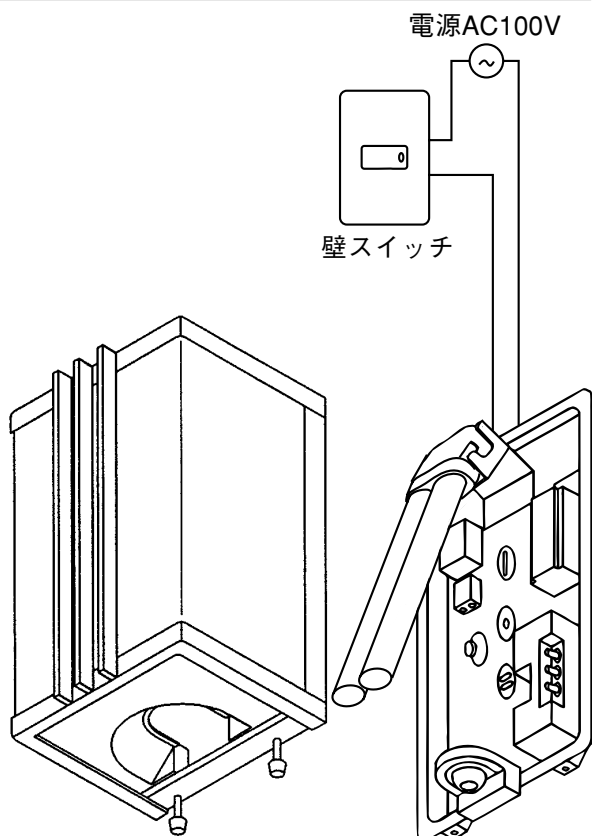


- 天井面から10cm以上はなして取付けてください。
はなさないでセードの取付けができません。

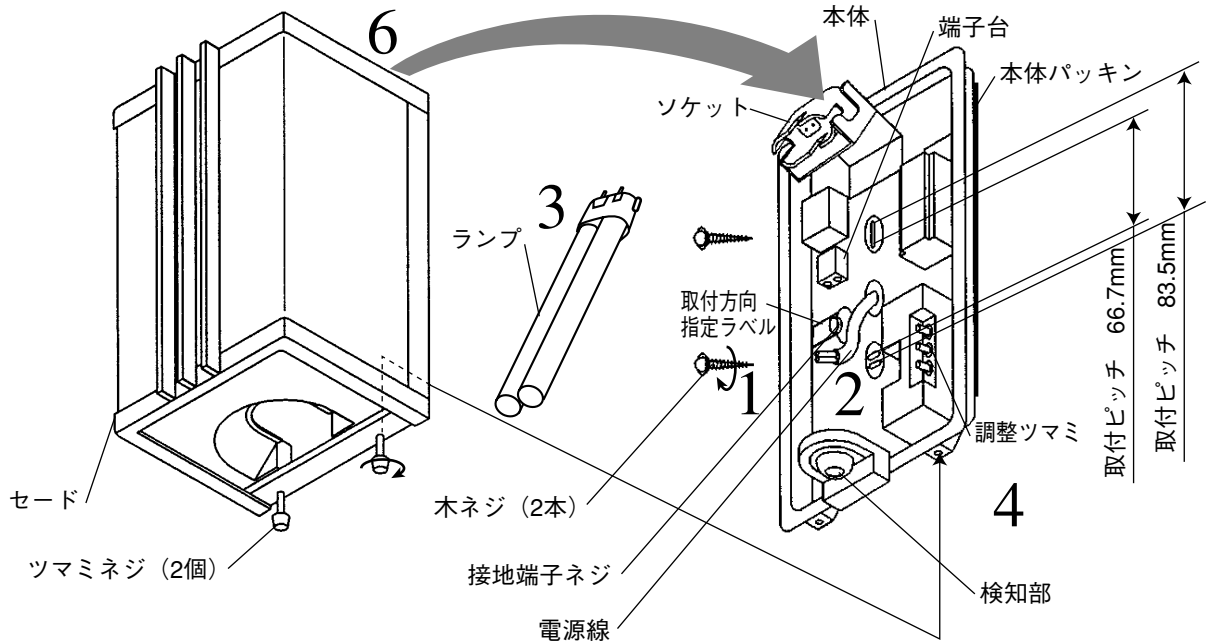


配線について

- 壁スイッチは必ず併設してご使用ください。
付属されていませんので別途ご用意ください。
- 壁スイッチがないと・・・
 - ・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
 - ・センサに関係なく連続点灯することができません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチをONにしても照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。
- 壁スイッチは器具1台につき1コでご使用ください。
2台以上の器具と接続すると連続点灯(取扱説明書参照)に切り替えるときに不具合が生じる場合があります。



各部のなまえと取付け方 **△! 注意** 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。



壁面の補強材のある所に
付属の木ネジ (2本) で

1. 本体を取付ける

取付方向指定ラベルにしたがって壁面の補強材のある場所に本体を取付ける。
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

端子台に

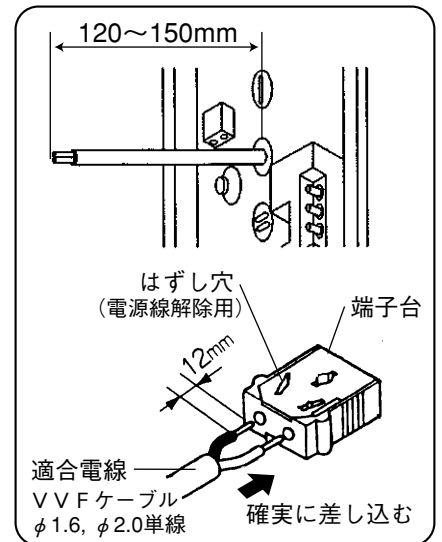
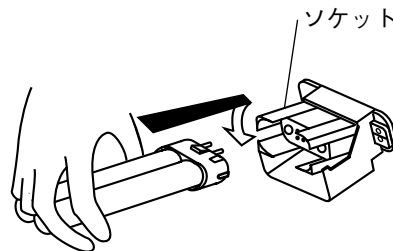
2. 電源線を接続する

接続が不完全な場合、火災の原因となります。
接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。

ソケットに

3. ランプを取付ける

押しながら矢印の方向に押す



4. 検知部の調整と調整ツマミを設定する

「設定のしかた」 (P4) を参照して設定してください。

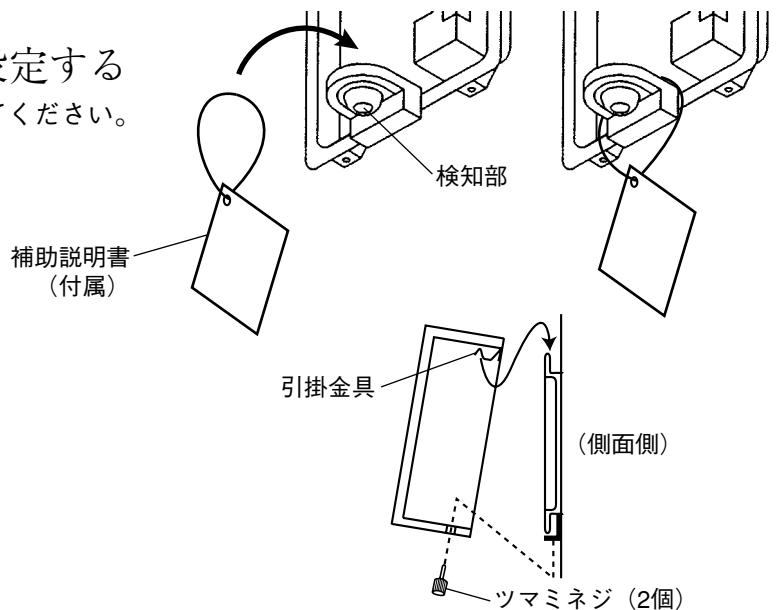
検知部に

5. 補助説明書を取付ける

本体上縁に引掛金具を引掛け
ツマミネジ (2個) で

6. セードを固定する

取付けが不完全な場合、浸水による感電
及び落下によるけがの原因となります。



7. 壁スイッチをONにする

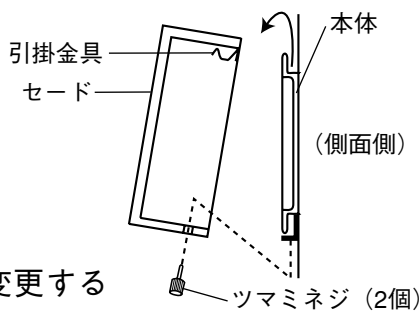
設定のしかた

検知範囲の設定は昼間に行うこともできます。

壁スイッチがOFFになっていることを確認してください。

1.セードをはずす

- ツマミネジ (2個) をゆるめセードをはずす



2.検知範囲を設定する

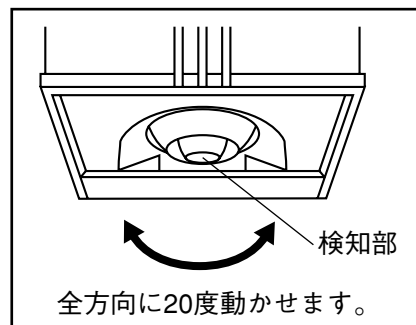
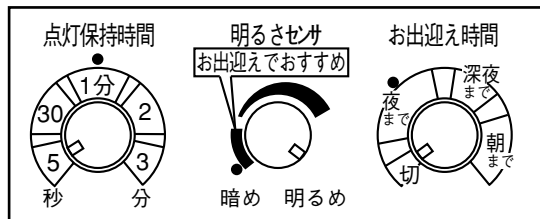
(1) 調整ツマミの設定を変更する

- 点灯保持時間を「5秒」にする。
- 明るさセンサを「明るめ」(右いっぱい)にする。
- お出迎え時間を「切」にする。

(2) 壁スイッチをONにし、検知範囲の外へ出て待ち、約40秒後に消灯することを確認する

消灯しない場合は次のような要因が考えられますので処置を施してください。

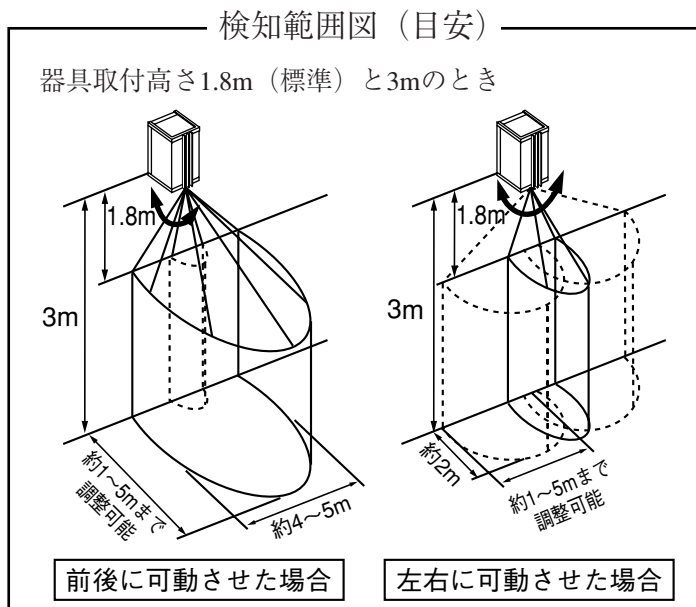
- お出迎え時間が「切」になっていない → 「切」にする
- 強制点灯になっている (検知部が赤く光っている) → 壁スイッチを一度OFFにしてから再びONにしてください



(3) 検知範囲を調整する

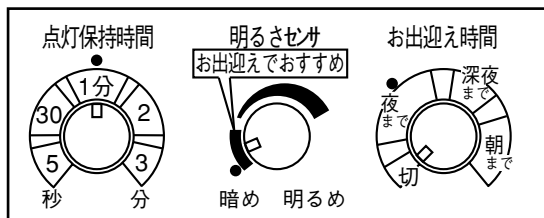
- ・検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。

- 注) ・本センサは人の動きなどの温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物等)が移動したときも検知する場合があります。
- ・検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進行方向、人の温度、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。
 - ・センサの性能上、器具に向かってまっすぐに接近した場合は、より近づかないと検知しない場合がありますが故障ではありません。



3.一旦、壁スイッチをOFFにする

4.調整ツマミを使用状態に設定する



- 点灯保持時間を「1分」にする。
- 明るさセンサを「暗め」にする。
- お出迎え時間を「切」にする。

取扱説明書の「この器具の使いかた」(P1)を参照し、どのモードで使用されるかを必ず検討の上調整ツマミの設定を行ってください。
(左記の設定では暗くなって人が近づいたときだけ点灯します)

5.セードを取付ける

「各部のなまえと取付け方」(P3)を参照してセードを取付けてください。

6.壁スイッチをONにする

取説コード

Z031

200003A
200007B

東洋エクステリア株式会社